

## 令和6年度第2回文化財保護委員会抄録

### 辞令交付

- 1 委員長あいさつ
- 2 協議事項

#### (1) 安城市所在の指定文化財管理調査の結果について

##### 【説明】(事務局)

- ・1班の調査では指定文化財の中で管理上問題があるものはなかった。
- ・2班の調査では願力寺から「方便法身尊像」と「六字名号」と「塚越古墳」の寄託を相談された。
- ・3班の調査では明法寺の「方便法身尊像 裏書」について、折れが強いため巻向きを横向きから縦向き変える修理をするとよい意見が出た。また、山崎城址内の雑木について史跡保護を目的として除去する。
- ・3班の調査では高棚町内会の「高棚村絵図」と「芦池絵図」の寄託を相談された。

##### 【質疑応答】(事務局・委員)

- ・寄託にあたって保護委員会で審議は必要か。(委員)  
→今回の寄託資料は全て指定文化財であるため審議は必要なく、管理者の意向があれば指定文化財は全て受け入れる。(事務局)
- ・明法寺の「方便法身尊像」について、巻く向きを変えて修理した場合、紙本そのものへの影響はないか。(委員)  
→裏書の向きを巻きなおす事例は何件かある。また、表装をやり直すときに裏打ち等の補強をすれば問題はないと思う。保存という観点から考えれば表装を直すときに巻く向きを直す必要はないが、礼拝の観点から掛けやすい縦向きに直した方が良い。(委員)

##### 【意見など】

- ・管理者の世代交代を意識し、管理方法の引継ぎを注意して管理調査に当たってほしい。(委員)
- ・管理調査で寄託の相談を受ける際、後継者がいるかないかにも留意して相談に乗ってほしい(委員)。

#### (2) 令和7年度文化財保存事業費補助金について

#### (3) 令和7年度安城市郷土史出版奨励事業の事前審査について

##### 【説明】(事務局)

- ・来年度、補助金を交付予定なのは「本證寺絵伝群修理事業」「本證寺境内庫裏耐震改修設計事業」である。なお、「明法寺の方便法身尊像」「山崎城址」「桜井神社のマツ並木」も管理者の意向を聞きながら準備を進めている。
- ・郷土史出版奨励事業については南明治八幡社記念誌発行委員会から「南明治八幡社造営記念誌～100年の歩み～」が提出されている。これは現在製作中で、過去に出版した「福釜神明社造営記念誌」を参考に目次案を作り原稿を製作している。なお、完成した原稿は次回の第3回の時に改めて委員にみてもらう。

【質疑応答】（事務局・委員）

- ・郷土史の現在の進捗状況は。（委員）

→挨拶部分と第2部、第3部についてはかなり執筆が進んでいる。（事務局）

- ・郷土史について宗教的なことに補助金を出すことにならないような整理はできているのか。

→事務局から記念誌発行委員会と打合せをし、宗教史ではなくあくまでも地域史の観点から本を編集するよう伝えてある。（事務局）

【意見など】（委員）

- ・郷土史は編集作業に苦勞することが多いと思うので事務局も助けてあげてほしい。
- ・地域史出版事業は、地域史とその場所の習俗がまとめてあれば問題はない。

### 3 報告事項

#### （仮称）本證寺史跡公園の整備状況について

【説明】（事務局）

- ・7月から発掘調査、10月から造成工事と樹木伐採、11月から土塁修復と内堀の浚渫と貯留施設整備を行う。次の検討委員会で令和7年度の整備内容の承認をもらう。

#### 東海道のマツ並木について

【説明】（事務局）

- ・今年度は志貴小、安城北部小、里町小の3学校9クラス、計9本で卒業記念として植樹する。
- ・東京都日野市でイチョウの木が折れ男性が死亡した事故を受け、安城市でも指定天然記念物を定期的に点検し適切な管理を進めていく。

#### 文化財保護委員・博物館協議会委員合同研修会の開催について

【説明】（事務局）

- ・11月6日に足助の旧鈴木家住宅、豊田市博物館に視察。

#### 本證寺絵伝群修理状況について

- ・11月28日に文化庁調査官現地指導がある。